

やまもり通信 vol.91

いよいよ夏本番！
朝早くからセミの鳴き声が聞こえてきます。



【加子母の風景】夏の明治座。周りにはピカピカの田んぼが輝いています。



やまもり
yamamori

こちら
彩都 やまもりです

【住所】箕面市彩都栗生南1-17-26
【お問い合わせ】彩都やまもり(TEL:072-739-6046)



やまもりHP

やまもりfacebook

【現在のギャラリー情報】9月以降のギャラリー内容は未定。決まり次第HPやfacebook等でご案内します。

「岐阜の夏を体験する」を開催しています。

【期間】6月20日(木)～8月26日(月)

山や川、豊かな自然に囲まれた《清流の国 ぎふ》はその自然を最大限に生かしたアクティビティも満載で、観光に、体験にぴったりの場所。

ギャラリーではこの夏、関西の皆さんにぜひ訪れてほしい水にまつわる観光スポットや体験スポットを中心に写真などで紹介しています。



【イベント情報】

『筆文字アート体験教室』を開催します。

ほんわりとしたタッチで大人気、
大山ゆい先生の筆文字アートを体
験できる教室です。
1回だけの参加、初心者大歓迎で
す。

【日 時】9月19日(木)
11月21日(木)

いずれも 10:00～12:00

【参加費】各日 3000円
(材料費込み・飲物付)

【定 員】各日 5名 【場 所】彩都やまもり「加子母子屋」



写真は9月のサンプル

『彩都やまもり「岐阜ふるさとまつり」開催決定！

毎年秋恒例の「岐阜ふるさと
祭り」を今年も開催いたします。

岐阜県各地からおいしいものや特産品が勢ぞろい。
地域の方によるステージイベ
ントも開催予定です。
《食べて、見て、体験して》岐
阜を満喫できる2日間、ぜひ
遊びにいらしてください！



【日 時】10月19日(土)～20日(日)9:30～16:00

【場 所】彩都やまもり敷地内

彩都やまもりの
「朴の木」

彩都やまもり
ひとこと日記



皆さんは朴の木、
ご存じですか？

朴の木は高さ 20m～30m、幹の太
さは直径 1mにもなる大型の落葉樹
で、日本各地の山地に自生しています
が、見た目が美しいことから街路樹や
公園にも植えられているそうです。

岐阜県の郷土料理として有名な「朴
葉味噌」「朴葉寿司」は、この朴の木の葉を使ったもの。大きな朴の
葉には殺菌作用があるそうで、昔から初夏のこの季節になると緑
鮮やかな朴の葉で、すし飯にいろんな具を包む「朴葉寿司」が各家
庭で作られます。



彩都やまもりの
「朴の木」

今回ご紹介するのは、東濃ひのきのヘアブラシ。
軽くて持ちやすく、静電気が起きにくいで、パサパサの髪や細くて
長い髪の方でもつれにくい、しかもかなりリーズナブルな価格と
あって、彩都やまもりでもすぐに売り切れてしまうほどの人気商品
です。クッション性もばつぐんで、ブラッシングする度に頭皮もマッ
サージできる優れもの。

サイズは大と小の2種類。小さいサイズは化粧ポーチに入れての
携帯に便利です。

気になる方は、彩都やまもりへぜひお越しください。

この朴の木、実は彩都やまもりにも植わっているんですよ。
3年ほど前に近所に住むお客様からいただいたもので、今年低木
ながらも立派な大きな葉をつけてくれました。まだ、摘んで朴葉寿
司を作る、とまではいきませんが、これから先どんどん大きくなって
何年後かにこの朴葉で朴葉寿司を作ってみたいなと思います。

2024年8月発行

発行◎関西岐阜県人連合会

HP ◎<http://yamamori.site>

お問い合わせ◎ 関西岐阜県人連合会 事務局

TEL 072-739-6046 / FAX 072-726-2401

メール/代表 nakashima@kinoie.in

十六わっていく

国道沿いの大好きな製材所が

跡形もなくなっていました。
ずっと見ていた景色に
ぽっかりと空いた穴のよう。

それでも一週間、一ヶ月、一年と
時間が経つにつれ、その製材所があった

景色は、心の奥にしまわっていく

国道に沿って加子母川が流れています。
昔、製材がまだ「水力」で動いていた時代の

名残りです。

時が経つにつれ、その製材所があった
景色は、心の奥にしまわっていく

んでしようね。



加子母の二代目御山守内木彦七が残した『御山方御用井所持日記』を紹介するこのコーナー。「尾張藩の林政と森林文化」子どもから大人へ江戸時代のかしも生活③の中から、今回は戸時代のお産をみてみましょう。

死と隣りあわせ

彦七の次男武助が妻おしのの臨月にあり、「御立願」をかけてくれるようお願いに来ました。立願は神仏に願をかけることで、彦七が古神道に通じていたため頼まれたようです。他にも出産に際し吉凶を占う様子も見られます。娘のおいわが女児を出産した際一年で夭折したこともあり、そうした氣がかりな背景があったからでしょうか。

幼くして子どもが命を落とすことはもちろん、母親にとっても出産は死と隣りあわせです。産後に出血したり容態が悪くなったりすると親類縁者が駆けつけ助け合つていました。母親の体調が悪い時は乳親(ちおや)を頼むことも。最近子を産んだ人にしばらく乳をもらい新生児の間特別に保護してもらっていたようです。現代のように入院するという説にもいかず、年配者の知恵や神頼みが支えになっていたんでしょうね。

ケガレをめぐる習俗

無事子供が生まれたあと、「田田田」と「産養い(うぶやしない)」と呼ばれる祝宴が行われました。現代でもお七夜は残っています。産養いは、子の誕生を祝い

本間希代子 絵描き・イラストレーター 名古屋生まれ。加子母に移住して25年目。古楽器奏者の夫と娘と日々バタバタと加子母ライフを楽しんでいます。アーリエ手箱 <http://tebako.jp>

関西発会活動けいじ板

令和6年度大阪岐阜県人会・

関西岐阜県人連合会合同総会無事終了!

大阪岐阜県人会(会長・寺岡龍彦)と関西岐阜県人連合会(会長・中島紀子)の2024年度の合同定時総会・懇親会を会員40人が出席して6月3日(月)新大阪ワシントンホテルプラザで開催しました。総会では寺岡会長の開会挨拶、来賓紹介、岐阜県商工労働部田口博史次長の来賓代表挨拶と続き、徳田昭憲会長代行から2023年度の事業報告・収支決算報告、2024年度の事業計画などが報告説明され、いずれも全会一致で承認されました。

閉会挨拶は中島会長。懇親会は岩崎雅明法人部会長の乾杯でスタート。しばらく歓談の後、「新市長紹介コーナー」では山下清司閑市長と山川弘保郡上市長が登壇。2023年9月に就任された山下市長は好調なふるさと納税など「刃物の町・関」の魅力を大いにPRされました。また

2024年4月に就任された山川市長は「踊りの町・郡上」の市民に寄り添う市政運営を目指すなどの抱負を語られました。また両市からは参加者全員にお国自慢のお土産を配布されました。神戸岐阜県人会の桂川士会



山下清司閑市長

京都岐阜県人会「郡上踊りin京都」

大にぎわいでした!



岐阜県各地から多数の出店者が集まり2日間に亘って開催された「わふわマルシェin京都／ぎふマルシェ@京都2024」が京都市役所前及び地下街「ゼスト御池」で開催されました。



関西岐阜県人連合会主催「ふるやまと紀行」のお知らせ

連合会では毎年、岐阜を巡る1泊2日のバス旅行を開催しております。今年は左記日程で《飛驒路・世界遺産の里を散策する旅》を開催します。

参考文献:「子どもから大人へ江戸時代の『かしも生活』③」



【日程】

令和6年10月1日(火)～2日(水)
【料金】
380000円(20名)～450000円
(15名)程度
※参加人数により料金変動

【最低催行人数】

15名

【申込締切日】

令和6年8月25日(日)

【行程】

1日目
梅田(8:00)→竹田駅(8:50)→
郡上八幡城下町散策・昼食→
白川郷散策→高山グリーンホテル(泊)

2日目

ホテル(8:30)→朝市・高山市内散策→
下呂市温泉街散策・昼食→
竹田駅(17:30)→梅田(18:10便)

【お申込・問い合わせ】
関西岐阜県人連合会事務局 竹田まで
TEL:072-21739-6046
mail:yoshida@nakashima-net.com



第81回 命の尊さ 山守日記23



妻子の無病息災を祈る意味と共に「ケガレ」の一歩踏み出る意味がありました。子どもは靈界から人間界へ取り上げられた為、子と母はケガレの状態にあると考えられていきました。命を落とす危険が高かつたことに関係しているのでしょうか。なんとかもう少し安心していいのだったのか、七日経つて安心していいのだったのか、加子母では七日目に子の名付けをしたようです。

お七夜に続き、産屋上がり、歩行初め、おしめおろし、お宮参りなどがあります。歩行初めは、生後1ヶ月頃にお母さんが赤子を見せに連れ歩き挨拶する習わしなんですつて。

お宮参り

武助とおしのの子万之助が生まれて三十五日にお宮参りがありました。仲人の清十郎や彦七の妻「かか」も一緒にでした。万之助の晴れ着には「祝い之紋」をつけ、吉日を選んで布を断ち、次女のおまつが縫いました。本当に周りから大切に大切にされて、縁起を担ぎ数々の儀礼が行われていたことが分かります。